

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
330002	X-21-B-2-330002			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	1年 2年 2年 × × ×
授業科目	担当教員	2	前期				
現代ロシア論	鈴木 佑也						

授業目的

この講義では20世紀の始まりから現代までのロシア・ソ連における住まいや住居環境を歴史的経緯に沿って概観し、今日のロシアにおける人々の暮らし、彼らを取り巻く文化および社会状況を学ぶことを目的とする。

住まいを中心に、建築物、街並み、交通、都市、さらにはそれらに関連した政策や文化現象を紹介していく。

また私たちが何気なく目にするものや触れるものをどのように捉えるかという表象文化論のアプローチ方法も学んでいく。

各回の授業内容

第1回	【授】 ガイダンス：住まいから何が見えるか。 ロシア・ソ連のから、ロシア人の暮らしを概観し、現在の彼らの一般的な生活スタイルを知る。 【前・後】 予習2時間・復習2時間。予め自らの住まいやその間取りを調べておき、ロシアやソ連の住居との違いを知っておくこと。	第9回	【授】 科学技術の進歩とSFの時代（1960年代後半-1970年代前半の暮らし）：拡張する都市 【前・後】 予習2時間・復習2時間。20世紀の大都市における問題や今日の都市問題で取り上げられている事柄をまとめておくこと。
第2回	【授】 20世紀初頭（ロシア帝政末期）の都心部での暮らし：集合住宅を中心。 【前・後】 予習2時間・復習2時間。当時のイギリスやアメリカ、日本などの集合住宅を調べておき、興味のある点をまとめておくこと。	第10回	【授】 安定と退屈の時代（1970年代の暮らし）：非公式芸術とアパート文化 【前・後】 予習2時間・復習2時間。プロバガンダ芸術といわゆる「表現の自由」について調べ、自分なりの考えをまとめておくこと。
第3回	【授】 ロシア革命前後の知識人層の暮らし：キャバレー、カフェ文化。 【前・後】 予習2時間・復習2時間。「知識人」と呼ばれる人々がどのような人たちであったか調べておくこと。	第11回	【授】 改革か？破壊か？（1980年代の暮らし）：マクドナルドのソ連上陸と「西側」文化の広まり 【前・後】 予習2時間・復習2時間。今日の日本における「アメリカ文化」に関連した商品やサービスについて調べておくこと。
第4回	【授】 1920年代の住宅：共同住居の登場。 【前・後】 予習2時間・復習2時間。現在のシェアハウスの長所と短所を調べておくこと	第12回	【授】 「野蛮な」資本主義（1990年代の暮らし）：ソ連崩壊後の混乱と生活での大きな変化 【前・後】 予習2時間・復習2時間。1989年の「ベルリンの壁崩壊」や当時の東ヨーロッパでのいわゆる「民主革命」について調べておくこと。
第5回	【授】 「みなさん、生活はよりよくなつたのです！」（1930年代の暮らし）（1）： 集団農場の登場と交通機関（鉄道、地下鉄）の躍進、農村部と都市部の電化の影響 【前・後】 予習2時間・復習2時間。交通機関と電気が日常生活への影響やどういった考え方方が生じたか自分なりに考えておくこと。	第13回	【授】 「強いロシア」の登場（2000年代の暮らし）：都心部でのショッピングモールとマンションの登場 【前・後】 予習2時間・復習2時間。IKEAやイオンモールができたことで生じた街の暮らしの変化や生活スタイルを調べておくこと。
第6回	【授】 「みなさん、生活はよりよくなつたのです！」（1930年代の暮らし）（2）： ある労働者の1日から見る一般大衆の暮らし。 【前・後】 予習2時間・復習2時間。自らの1日を振り返り、娯楽や勉強する場所がどのように組み込まれているかを調べておくこと。	第14回	【授】 「いかに住まうべきか？」（2010年代から今日の暮らし）：リノベーション建築と街並みの再解釈 【前・後】 予習2時間・復習2時間。古いものをどのように我々が「新しい」ものとして受け入れるか自分なりの考えをまとめておくこと。
第7回	【授】 第二次世界大戦後復興期の生活：外国人が見たソ連の生活 【前・後】 自らの文化が外国人の視点が紹介される場合、どのような点が強調されて紹介されるかを調べておくこと。	第15回	【授】 予備日（授業進度の調整のため） (内容にかかわらず授業は実施します)
第8回	【授】 「アメリカに追いつけ追い越せ」（1950年代後半-1960年代前半の暮らし）：ソ連式団地の登場 【前・後】 予習2時間・復習2時間。集合住宅と団地のことなる点や日本の団地がどのように登場したかその背景について調べておくこと。	第16回	【授】 予備日（授業進度の調整のため） (内容にかかわらず授業は実施します)

成績評価方法

宿題・授業外レポートを60%、授業態度・授業への参加（授業後のリアクションペーパーを含む）を40%として成績判定を行う。

教科書・参考書

指定の教科書や参考書は特にない。

授業前に講師がレジュメをアップデートするので、それを各自でダウンロードし、印刷して授業に臨むこと。

受講に当たっての留意事項

授業ではレジュメに基づいたパワーポイントや映像資料を中心に進められる。

授業で疑問に思った点があれば積極的に講師に質問すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

現代のロシアは、他地域と同様に、それまでの歴史が積み重なって形成されたものである。

まずはこの授業で私たちに身近な「暮らし」という観点からロシア文化の一面を知り、

ロシアという地域の特性や我々との共通性を学び、現代ロシアの社会や文化の理解を深める。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習